

セブン&アイグループの成長戦略

プライムツリー 赤池

東海地区でグループ初の大型商業施設が11月24日開業

人と人が交流する「★★★
★★★（ファイブスター）」

セブン&アイ・ホールディングス（本社・千代田区。井阪隆一社



「PRIMETREE AKAIKE」全景（イメージ）

長）は、愛知県日進市の名古屋市営地下鉄赤池駅近くに、大型ショッピングモール「PRIMETREE AKAIKE」（プライムツリー 赤池）を今年11月24日グランドオープンする。敷地面積約4万4700㎡、地上4階建て・売り場面積約4万3600㎡、テナント店舗数180店舗という、まさに「巨艦」。同社グループにとっては、東海地方初の大型商業施設でもある。

日進市は名古屋市中心部から鉄道で40分足らずの学術都市として名高い。そして目下、赤池駅周辺では「日進赤池ヒルズ」と呼ばれる、お洒落な街づくりを目指した再開発が進んでいるが、「プライムツリー 赤池」は、まさにこの中核。

「★★★★★（ファイブスター）モール」をデザインコンセプトに

掲げ、ショッピングや食事はもちろん、各種イベントや演奏会、パーティーを楽しんだり、子供達の遊び場を提供したりなど、人と人が交流するコミュニティの場を目指している。

では、同施設のイチオシを見て行こう。

プライムシート&ホール

1階中央には、同施設のシンボルの存在、巨大階段「プライムシート」が控える、大きな吹き抜け空間「プライムホール」が来訪者を迎える。ここは演奏会など各種イベントが行なわれる憩いの場で、店舗情報や各種映像コンテンツを映し出す巨大ビジョンも圧巻。

多目的。パーティールーム

3階には、フォーマルな式典やカジュアルな誕生日会、結婚式の



「プライムホール」（イメージ）

2次会などにも利用できる「パーティールーム」を配置している。

1階にある「イート・ヨーカドー」や食品物販コーナー、フードコートで購入した飲食品を気軽に持ち込むことも可能で、この他さまざまなオプションスーパースペースでもある。

女性目線のパウダールーム

1・3階の計10カ所に4つのエントランスと調和したデザインで設計されたトイレを設置。広々かつ清潔感溢れ、特に女性目線を取り入れたパウダールームを設置したのが特徴。



「パウダールーム」(イメージ)

充実かつ魅惑のキッズルーム

子供と一緒に楽しめるプレイグ
ラウンド「ボーネルンドあそびの
せかいへキドキド」と、屋外に設
置された「スマイルテラス」を用
意。スペースには外光を取り込み、
また安全性を考慮して床面には人
工カーペットを敷設。館内のテナ
ントや地域住民と協力しての各種
子供向けイベントも随時開催。

名店連なるレストランヒルズ

2階は「レストランヒルズ」と
呼ばれる飲食店街で、ロコフード

の「ハワイアン カフェ&レスト

ラン メレンゲ」や、餃子で名高

い「GYOZA OHSHO」、

チキンオイスターバーの「丸焼き

チキンとナポリピッツァ

『Meikoe』、ベーカリーカフェ

& レストランの「Green Bakery

SALAD&TOAST」、ハンバーグの

「いしがまやハンバーグ」の「愛

知初出店」5店舗を含む個性的な

10店舗が軒を連ねる。併設のステ

ージでは週末限定の音楽ライブも

開催予定で、とりわけ夜は落ち着

いた大人の空間を演出。

「アクトロイド」がお出迎え

インフォメーション・スタッフ

として、ロボット開発企業ココロ

が誇る非常にリアル感のある人体

型ロボット「アクトロイド」を採

用、これは国内のショッピングセ

ンターでは初の試みで、ITコン

テンツ開発企業として名高いティ

ファナ・ドットコムの高度な人工

知能AI会話型システム「KIZ

UNA(絆)」と連携させることで、

高精度の会話を実現。また、4カ

国語機能も導入予定で、増加が予

定される海外渡航者(インバウン

ド)にも対応。

「地球に優しい」にも徹底的

にこだわった大型商業施設

180の入居店舗には、前述の

イトーヨーカドーを筆頭に、セブ

ンイレブン、フランフラン、ア

カチャンホンポ、ユニクロ、無印

良品、ABC MART、眼鏡市場、

ZERO、JINS、ムラサキス

ポーツ、コジマ×ビックカメラ、

紀伊国屋書店、はせがわなど「有

名どころ」が顔を揃える。

また、入居するイトーヨーカド

ー(赤池店)では、「初」や「最大」

にもこだわっており、

●サラダステーション

●同店最大のイトインスペース

(100席)

●1日最大4回、新鮮な地場野菜・

果物を納品。初の試み

●食品売り場メイン入口に「鮮魚」

「お寿司」コーナー。初の試み

といった具合に、先進的な取り

組みをふんだんに取り入れている。

一方、環境への取り組みにも積

極的で、本体棟屋上には太陽光パ

ネル(発電容量124kw)を設置

する他、LED照明・街灯やEV

(電気自動車)用充電施設、光調

設備・人感センサー(省エネ)、

壁面・屋上緑化、雨水利用(トイ

レ洗浄、外構植栽の自動灌水)、

自動アシストつき自転車用バッテ

リー充電器、「セブンの森」で育

成した国産材活用(外部ベンチな

ど)など、日本屈指の「エコ」な

ショッピングモールを目指してい

る。

人と人との交流に軸足を置いた、

ショッピング・モールの新形態「P

RIMETREE AKAARK

E」。流通・小売業界のみならず、

これからのまちづくりのあり方に

も一石を投じそうだ。



「アクトロイド」(左)と「KIZUNA(絆)」